

NIPPON FOOD SHIFT オンライン説明会

食と農をつなぐアワード

FOOD SHIFT セレクション

2025年7月15日

ニッポンフードシフト事務局

「食」は人を育み、生きる力を与え、そして社会を動かす原動力となるもの。

いうまでもなくすべての人は「食」と無関係で生きることはできません。

日本社会が大きな変化に直面している今、これからの「食」はどうあるべきか。

食料自給率、環境との調和、新しい生活様式、健康への配慮、食育、サプライチェーンの状況など、私たちが真摯に向き合わなければならないテーマは少なくありません。

「食」について考えることは、これからの社会を考えること、人の生き方を考えること。

今こそ、変えるべきは変え、守るべきは守り、新しい挑戦を応援しながら、この時代にふさわしい日本の「食」のあり方を考える機会ではないでしょうか。

消費者、生産者、食品関連事業者、日本の「食」を支えるあらゆる人々と行政が一体となって、考え、議論し、行動する国民運動「ニッポンフードシフト」が始まります。

食から日本を考える。
**NIPPON
FOOD
SHIFT**

スケジュール

イベント	期間	会場
全国表彰 展示イベント	11月8日(土) 11月9日(日)	東京
地方認定式(北海道)	11月19日(水)	札幌市
地方認定式(東北)	1月15日(木)	仙台市
地方認定式(北陸)	12月9日(火)	金沢市
地方認定式(東海)	1月19日(月)	名古屋市
地方認定式(近畿) 展示イベント	1月12日(月)	大阪市
地方認定式(中国四国)	12月1日(月)	岡山市
地方認定式(九州)	12月16日(火)	熊本市
地方イベント (さかなの日)	11月22日(土)	横浜市

国民運動全体の進捗管理

推進パートナーの 加盟推進及び支援

新たな食料システムを支える企業等の活動を活性化させると共に、新たに推進パートナーとなった企業等の推進パートナーの活動報告状況についての支援

全国表彰式・地方認定式

新たな食料システムを支える企業等に係る表彰事業、部門に造詣深い著名人等による基調講演、同表彰に入賞した優良な取組等の紹介・発表や意見交換による交流

外部有識者で構成する 評議委員会

本事業の今後の取組内容等を諮るため、外部有識者で構成された評議委員会を設置し、年2回程度開催

消費者の行動変容を直接的に 促すような取組の実施

国民全世代が改正基本法の理念に理解を深め、具体的な行動変容を直接的に促すような取組を複数実施（コンテストやアワード等）

食生活調査

地方認定式等の来場者・出展者等に対し、食を通じた農業・農村に対する関心・理解度の変化、国産農林水産物・食品等の購入に対する意識の変化や行動変容を含む内容を設定

推進パートナーの加盟推進及び支援

消費者の行動変容を直接的に促すような取組の実施

優良な取組に対する
表彰
食と農をつなぐアワード

消費者に密接する
商品
FOOD SHIFT セレクション

食卓を守る
ヒト
未来につなぐお弁当Actionフォトコンテスト

地域と食と結びつける
観光
食をつなぐガストロノミー
フォトコンテスト

全国表彰式／丸の内イベント

地方認定式／地方イベント

オールジャパンでの機運醸成
家庭備蓄・持続的供給に資する農産物の消費（鍋 等）

本事業における調査業務

本事業における実施事項

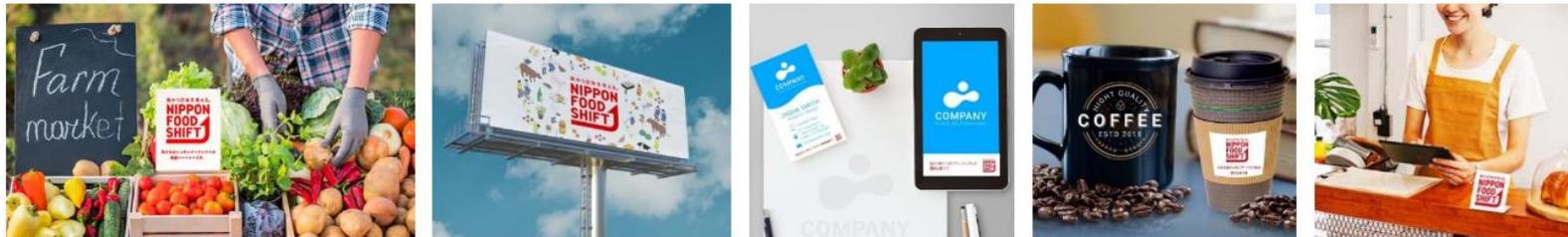
具体的な取組

登録について

ニッポンフードシフトの運動趣旨に共感いただける方であれば、活動の有無に関わらず、登録いただけます。
賛同いただける方は、企業、団体、個人問わず、いずれもご登録可能です。
また、企業でご登録された担当者の方は、個人でも別途ご登録いただけます。

登録いただくと、ロゴマークを、広告や名刺、商品などに使用したり、店頭やキャンペーンなどに無償でご利用することが可能となります。

登録者が主催するイベントや催事において、「ニッポンフードシフト」の名義をご使用いただくこともできます。



※ロゴ活用イメージ

さらに、推進パートナーとしての活動内容を本サイト等でご紹介させていただくことができます。

日本の食料の未来を明るくするために、消費者、生産者、食品関連事業者、日本の「食」を支えるあらゆる人々と行政が一体となって、考え、議論することがとても大切です。

だからこそ、まずは今すぐ登録を！

▽こちらから登録ください。

推進パートナーの募集
<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/partner/>

食から日本を考える。
**NIPPON
FOOD
SHIFT**



全国表彰

食と農をつなぐアワード

全国表彰事業の目的

新たな食料システムを支えるための企業等の優良な取組に関する全国表彰式を実施し、消費者や食品産業事業者等が関連法の理解を深め、行動変容につながることを目指す。また次年度以降の継続開催を考慮した運営基盤を構築する。

表彰対象分野

食料の
安定供給

食品
アクセスの
確保

持続的食料
システム確立

スマート農業
技術等の
開発・普及

応募対象

各部門に関する優良な取組を行った企業、NPO団体、地方公共団体、学校等
(応募資格として、ニッポンフードシフトの推進パートナーの登録が必須)

【主なスケジュール】

- ・8月12日(火)応募締切
- ・8月29日(金)一次審査結果通知(予定)
二次審査に進む方には取組内容書をお渡しします。
- ・9月19日(金)二次審査 応募締切(取組内容書提出期限)
- ・10月中旬 最終結果発表
- ・11月8・9日(予定)：全国表彰式(明治安田ホール)を開催

授与する賞

分野ごとに

農林水産大臣賞 × 1点
官房長賞・局長賞 × 2点

活動認定証の交付

上記に該当しなかった企業等については、改正基本法の主要事項の取組を行ったことに対して、全国8か所で開催されます地方認定式にて、**活動認定証**を交付します。
地方認定式 札幌、仙台、東京、金沢、大阪、名古屋、岡山、熊本



【部門】食料の安定供給

食料の安定供給

地域の農産物を活用した新しい食品の開発や、災害時の食料供給体制の構築など、食料の安定供給に寄与する取組

【表彰対象】 穀物等の民間備蓄、国産消費の拡大（原料の国産化転換、キャンペーン、理解醸成）、安定的な輸入等に係る取組を行うことにより、我が国の食料安全保障の確保に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【穀物等の民間備蓄①】

〈米穀卸売企業の例〉

- 大規模冷害等により、米穀の供給が日本全体で2割程度減少するような場合、米穀の在庫の仕向け先を、特にコメが足りていない地域へ仕向ける。
- 不測時の出荷・販売の調整を行う体制を整えるため、自治体との包括協定や他社との業務提携契約の締結を公表。



【穀物等の民間備蓄②】

〈アミューズメント施設運営企業の例〉

- 非常時に提供するための備蓄米を常備。
- 非常食として使用せず賞味期限を迎える備蓄米は、フードバンクや子ども食堂へ現物を寄付するほか、従業員食堂でアレンジメニューとして提供し、フードロス削減にも取り組む。
- 従業員食堂の売り上げの一部をWFP国連世界食糧計画に寄付。



【穀物等の民間備蓄③】

〈ソフトウェア開発企業の例〉

- 近隣の農業公社から米を年間300kg購入し、災害備蓄米として保管、災害時などに活用。
- 災害時の炊き出し等に使用しなかった場合、新規購入時にこども食堂ネットワークを通じて、こども食堂に寄付。



【部門】食料の安定供給

食料の安定供給

地域の農産物を活用した新しい食品の開発や、災害時の食料供給体制の構築など、食料の安定供給に寄与する取組

【表彰対象】 穀物等の民間備蓄、国産消費の拡大(原料の国産転換、キャンペーン、理解醸成)、安定的な輸入等に係る取組を行うことにより、我が国の食料安全保障の確保に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【国産消費(原料の国産化)の拡大】

〈外食チェーン企業の例〉

- ・ 「**「使用しているすべての野菜を国産化に」という目標を掲げる。**
- ・ **1年をかけ全店で、野菜を100%国産化。**
- ・ その後、麺に使う小麦を国産化、ぎょうざ主原料も全て国産へ切り替えた。



【国産消費の拡大のための消費者理解醸成】①

〈総合不動産デベロッパーの例①〉

- ・ 地方都市でシンポジウムを開催。
- ・ 作り手の想いや価値を、食べ手に届けるための「伝え手」の在り方を議論し、既存の食料バリューチェーンに留まらない可能性を見出すことをテーマとしたトークセッションを実施。



【国産消費の拡大のためのキャンペーン】

〈大手食品メーカーの例〉

- ・ 農林水産省「こども霞が関見学デー」にて、日本の食料事業を学ぶワークショップを実施。参加者より「産地を見るようになった」、「食料自給率を上げるため、国産を積極的に選びたい」等の理解醸成や行動変容がみられた。
- ・ 地方自治体、地域の小学校等と連携し「全校一斉カレーの日」に、同内容の出前授業を実施。今後同市中学校や他地域へ横展開を予定。



【国産消費の拡大のための消費者理解醸成】②

〈総合不動産デベロッパーの例②〉

- ・ 「食について考える」をテーマにしたイベントを、10日間にわたり開催。
- ・ サステイナブル農業についてのシンポジウムをはじめ、コラボメニューの提供、イベントの参加団体の取り組みを紹介するエキシビション(展示)、親子で参加できるワークショップなどを期間中展開。



【部門】食料の安定供給

【表彰対象】 穀物等の民間備蓄、国産消費の拡大(原料の国産転換、キャンペーン・普及、理解醸成)、安定的な輸入等に係る取組を行うことにより、我が国の食料安全保障の確保に功績のあった企業・団体等

食料の安定供給

地域の農産物を活用した新しい食品の開発や、災害時の食料供給体制の構築など、食料の安定供給に寄与する取組

表彰対象の具体的な取組事例

【国産消費の拡大のための普及啓発】

〈学校給食のごはん食化、和食化に取り組む一般社団法人の例〉

- ・ 「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを受け、2014年3月に日本料理の若手旗手8名が「和食給食応援団」を結成、農林水産省が認定した。
- ・ 未来を担う児童に、伝統的食文化である“和食”を中心とした食生活や、その味覚を継承してもらうため、和食給食を推進し、普及、定着を図るため、和食の有名料理人が全国6つの推進モデル校へ来校し実際の給食の調理監督を行った。
- ・ 現在では、全国各地に約100人の和食料理人が参加、講演会や食育授業参加者数は1万人を超えるまでに拡大している。



【国産消費の拡大のための消費者理解醸成】①

〈国産小麦に関わる職人団体のNPO法人の例①〉

- ・ 持続可能なクラフトフードに、“地域”(ローカル)という切り口から、気候変動や耕作放棄地、農業人口の減少や地域経済などへの関心を高めるために取り組む。
- ・ 日本全国で収穫される“新麦”を味わえる秋に開催され、会員の新麦のパン、麺、菓子が一堂に会するフェスティバルを毎年全国各地で開催。



【部門】食料の安定供給

【表彰対象】 穀物等の民間備蓄、国産消費の拡大(原料の国産転換、キャンペーン、理解醸成)、安定的な輸入等に
係る取組を行うことにより、我が国の食料安全保障の確保に功績のあった企業・団体等

食料の安定供給

地域の農産物を活用した
新しい食品の開発や、災
害時の食料供給体制の
構築など、食料の安定供
給に寄与する取組

表彰対象の具体的な取組事例

【国産消費の拡大のための消費者理解醸成】②

〈おにぎりの国内外への普及を目的とする一般社団法人の例〉

- 日本の地域や企業が、「おにぎり」とその食材の普及のため、地域や食材の魅力をPRし、地域課題を解決するための産官学民連携の取組として、サミットを2024年より開催。



【安定的な輸入】

〈穀物取扱量で国内トップクラスの企業の例〉

- 農業の生産性向上、農産物の購入先の多様化や信頼性の高い調達ルートの構築に取り組む(海外への投資等)ことで、食料需給を効率的に結び付け、世界中から食料を調達し、安定的に供給。



【部門】食品アクセスの確保

食品アクセスの確保

高齢者や障害者など、食料品の入手が困難な人々への配送サービスの提供や、食料品の価格低減を目指した取組

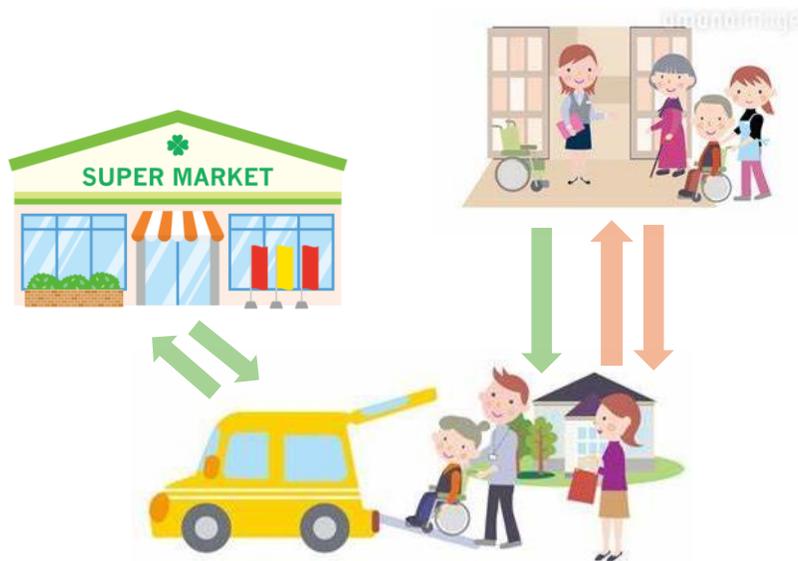
【表彰対象】 物理的アクセラや経済的アクセスの確保等に係る取組を行うことにより、食品アクセスの確保に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【物理的アクセス】

〈介護サービス企業の例〉

- 自治体と連携し、施設と施設利用者の自宅間を運行している送迎車両を活用。
- デイサービス施設の利用者が、非通所日に買い物等の外出をする際に、送迎車両の経路を変更して自宅まで迎えに行き、スーパーまで送迎を行うサービスを提供。
- これにより、利用者は、家族送迎・付き添いなしで一人でも安心して外出・買い物ができる。



【経済的アクセス(フードバンクへの寄付等)】

〈食品企業の例〉

- フードバンク活動を行うNPO法人と提携し、自社製造の冷凍食品を経済的に困窮している者に無償で提供。
- 系列物流会社と協力し、低温輸送でNPO法人が支援する養護施設などに、直接食品を届ける仕組みを構築。



【部門】持続的食料システムの確立

持続的食料 システムの確立

環境負荷の低減を目指した農業技術の導入や、有機農業の推進、食品ロス削減のための取組

【表彰対象】 持続的食料システムの確立(合理的価格形成、人権・環境配慮調達・栄養改善)に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【合理的価格の形成】

〈協同組合の例〉

- 生産費が考慮された価格形成の実現に向け、農業生産資材の価格高騰の影響を数値で示すため、野菜等を対象とし、県の統計を基に、**生産費の上昇額を算出した試算表**を作成。
- 卸売会社向けに説明会を開催し、当該試算表をバイヤー等との**価格交渉の場で活用**することを要請。
- これらの取組により、取引価格の値上げに応じる取引先も見られた。



【人権・環境配慮調達】

〈コーヒーを取り扱う食品メーカーの例〉

- 調達に関する姿勢を明文化した調達原則と行動規範を制定。
- コーヒー豆の調達については、基本的な人権の尊重、強制労働・児童労働の禁止、適切な労働条件の遵守、生物多様性と生態系の保全、水資源の保全等の配慮がなされているもののみを対象とする。
- 実効性の確保のため、専門知識を持つ社員が自ら現地へ向かい、定期的な実態調査を行う。



【部門】持続的食料システムの確立

持続的食料 システムの確立

環境負荷の低減を目指した農業技術の導入や、有機農業の推進、食品ロス削減のための取組

【表彰対象】 持続的食料システムの確立(合理的価格形成、人権・環境配慮調達・栄養改善)に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【環境配慮調達】

〈菓子メーカーの例〉

- 商品の主原料であるカカオの持続可能な生産・調達に向けた取り組みを啓発する活動を計画し、『サステナブル宣言』を実施、環境省へ報告。
- 『サステナブル宣言』の概要は以下の通り。
 - 商品パッケージに「カカオ・サポート」について明記
 - 体験イベントの開催
 - ノベルティグッズを制作
- 2024年に『ネイチャーポジティブ宣言』を制定。
 - サーキュラーエコノミー
 - カーボンニュートラル
 - 生態系の保全・再生



【栄養】

〈栄養バランスのとれたレシピ提供の例〉

・複数の食品企業が連携し、栄養に配慮したレシピや栄養バランスを考慮した組み合わせ(献立)に関する情報を提供することで、栄養バランスのよい食生活を推進。

〈減塩に取り組む例〉

・おいしさを損なわない減塩技術を用いて、おいしさと減塩を実現した商品を開発。



スマート農業技術等の 開発・普及

ドローンやAIを活用した農業の
効率化、農業生産性の向上を
目指した新技術の研究開発

【表彰対象】 農業技術の活用・開発に功績のあった企業・団体等

表彰対象の具体的な取組事例

【農業者・産地等によるスマート農業技術に適した新たな生産方式導入の取組等①】

〈農園の例〉

- スマート農業技術である収量コンバインやデータ連携玄米選別機を導入。
- データ解析の結果、品種構成を増やし、品種毎に作期をずらすことで、新たな機械の導入なしに適期に収穫することが可能となり、20%超の単収向上を達成。



【農業者・産地等によるスマート農業技術に適した新たな生産方式導入の取組等②】

〈農研機構の例〉

- 食味に優れ、栽培の省力化やスマート農機の導入による作業効率化を促進可能なコンパクトな樹姿(カラムナー性)のリンゴ新品種「紅つるぎ」を育成。



分枝型の樹



カラムナー性
(円筒型)の樹



地方認定式の予定スケジュールになります。
現在実施に向けて各所調整を行っております。

1 農政局の取組紹介

農政局の活動、取組を参加者に紹介



2 表彰式

活動認定証の授与



3 有識者等による基調講演

4 パネルディスカッション

登壇者は、基調講演講師含め3～5名程度



5 ワークショップ

お弁当フォトコンテストの受賞者を対象に最寄りのぐるなび REDレストランなどにて生産者による農産物の解説とお食事会を開催。

実施農政局	日程(案)	実施府県	会場名	ワークショップ会場
北海道農政事務局	2025年11月19日(水)	北海道札幌市	札幌市教育文化会館小ホール	ぐるなび REDレストラン
東北農政局	2026年1月15日(木)	宮城県仙台市	せんだいメディアテークオープンスクエア	ぐるなび REDレストラン
北陸農政局	2025年12月9日(火)	石川県金沢市	金沢市文化ホール	ぐるなび REDレストラン
中国四国農政局	2025年12月1日(月)	岡山県岡山市	岡山コンベンションセンターコンベンションホール	ぐるなび REDレストラン
九州農政局	2025年12月16日(火)	熊本県熊本市	熊本市民会館シアーズホームホール	ぐるなび REDレストラン
近畿農政局	2025年1月12日(月)	大阪府大阪市	グランフロント大阪ナレッジプラザ	ぐるなび REDレストラン
東海農政局	2026年1月19日(月)	愛知県名古屋市	ウインクあいち	ぐるなび REDレストラン
東京	2025年11月8日(土) 9日(日)	全国表彰 関東認定式	明治安田ホール	ぐるなび REDレストラン

Q：他の表彰事業等で受賞を受けている取組や優良事例として公表されている取組の応募の可否は？

A：他事業で表彰されている事業でも幅広く応募を促す観点から応募可能です。

Q：大手企業向けの表彰制度ではないでしょうか。

A：7月1日より公募開始となりましたが、中小企業の方、個人事業主の方にも多数、応募いただいております。



ニッポンフードシフト 事務局

〒100-6051東京都千代田区霞が関3-2-5
霞が関ビルディング23階（株式会社JTB 霞が関事業部内）

電話番号：03-6737-9261（平日9：30～17：30）

メールアドレス："nippon-food-shift01@bsec.jp"





FOOD SHIFT セレクション 概要説明

株式会社NKB

FOOD SHIFTセレクションとは



- 「FOOD SHIFTセレクション」は、農林水産省が主催する表彰制度であり、令和6年に改正された「食料・農業・農村基本法」（改正基本法）や新たに制定された「食料供給困難事態対策法」などを背景に創設されました。
- 改正基本法が掲げる「持続可能な食料供給の実現」に向けて、優れた産品を表彰し、全国へ発信することで、生産者から食品産業、消費者までを含めた“食”に関わるあらゆる関係者が連携し、持続可能な食料システムの構築を目指す取組を後押しすることを目的としています。
- 流通、外食事業者等が審査委員となり、改正食料・農業・農村基本法（以下「改正基本法」）の理念に則した優良な産品をコンテスト形式で発掘します。
- 「優秀賞」、「最優秀賞」の産品については、各社の流通販路を通じて消費者に届けられ、より消費者に選択されやすくなるような販売促進の取組を実施します。



NIPPON
FOOD
SHIFT

応募対象と応募部門

【応募主体】

ニッポンフードシフトの推進パートナーに登録した日本国内の農林水産物に係る事業者（農林水産物の生産者を含む）
※現在推進パートナーに登録していなくても、新たにパートナーに登録いただければ応募可能です。

【応募対象製品】

下記4部門のいずれかに該当する製品※

- ① 地産地消または国産農林水産物の消費拡大に寄与する農林水産物・加工食品等の製品
- ② みどりの食料システム戦略の推進に寄与する国産農林水産物・加工食品等の製品
- ③ 家庭備蓄の市場拡大に寄与する農林水産物・加工食品等の製品
- ④ インバウンド消費拡大に寄与する国産農林水産物・加工食品等の製品

※製品とは：

穀物類（米、麦、トウモロコシ、ソバ、大豆等）、野菜、果物、畜産（食肉、乳製品、鶏卵、蜂蜜等）、水産（魚介、海藻等）、調味料（味噌、醤油、調味料関連製品等）、加工食品（麺類・菓子類、調味冷凍食品、レトルトパウチ食品等）、中食（弁当、惣菜）、飲料（アルコールを含まない）、その他

同一企業・団体から複数の製品を応募することができます。該当する場合、同一商品を複数部門に応募することも可能です。



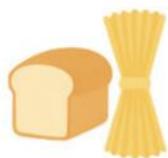
応募部門対象例

【部門1】

地産地消または国産農林水産物の消費拡大に寄与する
農林水産物・加工食品等の産品



国産野菜のチップス



国産米使用のパンやパスタ など

例：国産素材を主原料とした食品、
「〇〇県産〇〇使用」を明記した食
品など

【部門2】

みどりの食料システム戦略の推進に寄与する
農林水産物・加工食品等の産品



有機農産物



環境負荷を抑えた養殖魚 など

例：有機農産物、みえるらべる（生産
者の環境負荷低減の努力を星の数で
表したラベル）取得農産物など

【部門3】

家庭備蓄の市場拡大に寄与する
農林水産物・加工食品等の産品



地元産品や料理の缶詰



フリーズドライ食品 など

例：賞味期限が延長された食品や、
フリーズドライ食品、長期保存が可能
な食品など

【部門4】

インバウンド消費拡大に寄与する
農林水産物・加工食品等の産品



醤油・味噌・調味料



あられやせんべい など

例：訪日外国人に響くその地域ならで
はの食品や、地方空港・免税店などで
買える“地域発”食品など

評価基準（部門共通）



全部門共通

- 先進性・独自性
- ストーリー性
- その他の評価
- 商品力
- 品質・美味しさ
- 地域性
- 安全性

評価基準（部門別）



【部門1】

地産地消または国産農林水産物の消費拡大に寄与する
農林水産物・加工食品等の産品

- 地域のもの（国産）の活用度
- 消費者への信頼性

【部門2】

みどりの食料システム戦略の推進に寄与する
農林水産物・加工食品等の産品

- 環境負荷低減・資源循環の実践
- 持続可能な経営・生産体制

【部門3】

家庭備蓄の市場拡大に寄与する
農林水産物・加工食品等の産品

- 備蓄性・保存性
- 特別なニーズへの対応
- 国産原料の活用度

【部門4】

インバウンド消費拡大に寄与する
農林水産物・加工食品等の産品

- 魅力発信力
- インバウンド向け訴求力
- 日本文化の体現度

審査委員



(五十音順、敬称略)

【審査委員長】

- 株式会社はらフードコンサルティング 代表取締役社長 原昭彦氏

【審査委員】

- 株式会社高島屋 MD本部食料品部 マーチャンダイザー 石渡眞佐之氏
- 株式会社未来づくりカンパニー 代表取締役 大羽昭仁氏
- カフェ・カンパニー株式会社 ファウンダー兼最高顧問/ZEROCO株式会社 代表取締役社長 楠本修二郎氏
- 株式会社cotta エグゼクティブマネージャー 齋藤貴生氏
- 株式会社エプリー 取締役 執行役員デリッシュキッチンカンパニー長 菅原千遥氏
- 株式会社ディスカバー・ジャパン 代表取締役社長/Discover Japan統括編集長 高橋俊宏氏
- 一般社団法人フードトラストプロジェクト 代表理事 徳江倫明氏
- 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 取締役会長 永松文彦氏
- 株式会社食文化 代表取締役社長 萩原章史氏
- イオンテール株式会社 食品本部水産商品部 バイヤー 初瀬雄二氏
- 株式会社三越伊勢丹 アプリビジネスグループ アプリ運営部 部長（食品バイヤー/宅食事業担当部長歴任） 林真嗣氏
- モデル・タレント パンツエッタ・ジローラモ氏
- 株式会社さとふる 代表取締役社長兼CEO 藤井 宏明氏
- ベルトラ株式会社 代表取締役社長兼CEO 二木 渉氏
- おにぎり浅草宿六 三代目 三浦洋介氏
- 一般社団法人日本飲食団体連合会 副代表理事/HAL YAMASHITA東京本店 エグゼクティブシェフ 山下春幸氏

審査方法とスケジュール



令和7年9月5日（金）	応募締切	
令和7年9月中旬	一次審査	審査委員による書類審査で、応募製品の中から「入賞」1000 製品を選定します。
令和7年9月中旬～	二次審査	各部門の審査委員による書類審査で、「入賞」1000 製品から、「優秀賞」100 製品を選定します。
令和7年10月下旬	最終審査	各部門の審査委員による品評会で、「優秀賞」100 製品から、「最優秀賞」10 製品を選定します。
令和7年10 月下旬	結果発表	全応募者に対して結果を通知します。
令和7年11 月上旬	表彰式	最優秀賞製品を表彰いたします。
令和7年11月～令和8年1月	地方認定式	「入賞」、「優秀賞」の製品を地方認定式にて表彰いたします。
令和8年1 月～2月		「優秀賞」、「最優秀賞」の製品において、本セレクションと連携した販売促進の取組を実施予定

応募方法



「FOOD SHIFTセレクション」特設ページ



応募フォーム

FOOD SHIFT セレクション応募フォーム

FOOD SHIFTセレクションへの応募ありがとうございます。
本応募フォームは、農林水産省が推進する「ニッポンフードシフト」のFOOD SHIFT
セレクションの応募フォームになります。

本応募フォームにてご提供いただきました個人情報は、「ニッポンフードシフト」
FOOD SHIFTセレクションの応募管理、応募後のご連絡、アンケートにのみ使用させ
させていただきます。
その他の個人情報取り扱いにつきましては、プライバシーポリシー
<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/privacy/>をご覧ください。

■本応募に関するお問い合わせ
FOOD SHIFTセレクション事務局（委託先：株式会社NKB内）
fss-office@nkb.co.jp

下のフォームから応募書類（FCPシート）のアップロードと応募情報を登録してくだ
さい。

***必須**

企業名 **必須**
株式会社○○○○○

会社住所 **必須**
郵便番号 **必須** 都道府県 **必須**
市区町村 **必須** 選択してください

番地 **必須**

建物名・部屋番号 **必須**

会社電話番号 **必須**
09012345678

担当者名前 **必須**

- ニッポンフードシフトの推進パートナーに登録
- 「FOOD SHIFT セレクション」特設ページの応募フォームよりご応募ください。
- 応募フォームに必要事項を入力、応募書類をアップロードして送信してください。

入賞特典



	入賞 1000産品	<ul style="list-style-type: none">● 「FOOD SHIFTセレクション」入賞ロゴマークを使用いただけます。● 2025年11月～2026年1月に開催する地方認定式にて表彰いたします
	優秀賞 100産品	<ul style="list-style-type: none">● 「FOOD SHIFTセレクション」優秀賞ロゴマークを使用いただけます。● 2025年11月～2026年1月に開催する地方認定式にて表彰いたします。● 2026年1月～2月に行う本セレクションと連携した販売促進の取組の対象となります。● 2026年2月開催スーパーマーケット・トレードショー2026本セレクションブースにて展示予定。
	最優秀賞 10産品	<ul style="list-style-type: none">● 「FOOD SHIFTセレクション」最優秀賞ロゴマークを使用いただけます。● 2025年11月9日（日）東京（丸ノ内）にて開催する表彰式にて表彰いたします。● 2026年1月～2月に行う本セレクションと連携した販売促進の取組の対象となります。● 2026年2月開催スーパーマーケット・トレードショー2026本セレクションブースにて展示予定。

問い合わせ先



FOOD SHIFT セレクション事務局

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3
東京宝塚ビル9F（株式会社NKB内）

電話番号：050-3822-2930（平日10：00～17：00）

メールアドレス：fss-office@nkb.co.jp

食から日本を考える。

**NIPPON
FOOD
SHIFT**

未来につなぐ お弁当Actionフォトコンテスト

～お弁当を通して、健康への配慮・
環境への負担軽減を考える～



未来につなぐお弁当Actionフォトコンテストとは?

毎日のお弁当を通じて、「地元の食材ってどんなもの?」「持続可能な農業って?」

そんなことをちょっと考えてみるきっかけに——

このフォトコンテストは、地域で育った食材や、国産有機農産物等を使ったお弁当の写真と、あなたの“食への思い”を募集する企画です。身近な「食」を見つめ直すことで、自然や生産者とのつながりに気づくきっかけになればと願っています。

応募概要

2025年度 未来につなぐお弁当Actionフォトコンテスト

※ 公募期間

7月15日(火)～8月31日(日)17:00(必着)

※ 応募ページ

QRコードを読み取って、応募ページにてお申込みください。
<https://www.abc-cooking.co.jp/plus/feature/nfs/>

※ 表彰の種類

・最優秀賞 (20名) ・優秀賞 (140名)

※ 入賞特典

- ・各地方認定式参加後 RED U-35 ぐるなびシェフにおける使用(サステナブル)食材に係る説明および料理の実食
- ・食をつなぐ親膳大使(お弁当)として認定

※ 応募資格

- ・どなたでもご応募いただけます。
- ※高校生未満の方が入賞した場合、保護者1名の同伴が必要となります。

※ 結果発表

入賞された方には2025年10月下旬ごろに結果を通知



応募ページへ

8月31日
(日曜日)
応募締切



入賞された方には

RED U-35 ぐるなびシェフにおける使用 (サステナブル)食材に係る説明および料理の実食

RED U-35 コンペティションにおいて優秀な成績をおさめた料理人が地元の食材・国産有機農産物を使ったプロならではのメニューを考案。

当日は、料理人自ら皆様へメニューのご説明だけでなく食材選び・毎日のお弁当作りが楽しくなるワンポイントアドバイスをお届けします。